



常設展「岡本太郎とスポーツ」

2023 年 10 月 5 日(木)～2024 年 1 月 14 日(日)



岡本太郎《マラソン》1964 年

当館で保管している岡本太郎の写真を眺めていると、岡本が野球やゴルフなどのスポーツに興じている姿をときたま目にします。特に、46 歳で始めたと言うスキーについては、瞬間瞬間に命を懸けて斜面に身を投げ出す緊張感の虜になり、毎シーズン、制作や執筆などの忙しい日々を縫って雪山に通いました。雪山を前にひとりで「危険に向かい勇気をもって己れをひらく」姿勢は、芸術や生き方に対する岡本の指針と共通するものがあります。

本展では、「岡本太郎とスポーツ」をテーマに、岡本が競技場等のために手掛けた作品や、岡本にとっての「スポーツ」にまつわる作品をご紹介します。当館ならではの「スポーツの秋」をお楽しみいただけますと幸いです。

開催概要

会場：川崎市岡本太郎美術館 常設展示室

会期：2023 年 10 月 5 日(木)～2024 年 1 月 14 日(日)

主催：川崎市岡本太郎美術館

休館日：月曜日(10 月 9 日、1 月 8 日を除く)、10 月 11 日(水)、11 月 24 日(金)、
12 月 29 日(金)～1 月 3 日(水)、1 月 9 日(火)

観覧料：10 月 5 日(木)～10 月 13 日(金) 常設展のみ開催

一般 500(400)円、高・大学生・65 歳以上 300(240)円、中学生以下は無料

10 月 14 日(土)～1 月 14 日(日) 企画展とのセット料金

一般 1,000(800)円、高・大学生・65 歳以上 800(640)円、中学生以下は無料

※()内は 20 名以上の団体料金

※企画展開催中は、企画展とのセット料金に変わります。

同時開催：2023 年 10 月 14 日(土)～2024 年 1 月 14 日(日)

企画展「TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて」

※開催期間等、変更になる場合がございます。最新の情報は当館ホームページにてお知らせいたします。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：喜多 広報担当：山内(pr@taromuseum.jp)

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内

TEL:044-900-9898 / FAX:044-900-9966 <https://www.taromuseum.jp>



みどころ

●当館所蔵のスポーツにまつわる作品を一挙に展示！

競技場のためのパブリックアートや、競技会のメダル、野球チームのロゴなど、岡本太郎の作品にはスポーツに関連深いものが多数あります。また、スキーで頻りに訪れた温泉地のためにデザインしたロゴや、スキーで骨折した脚から着想を得た彫刻など、スポーツをきっかけに生まれた作品もあります。本展では、そうしたスポーツにまつわる作品をまとめてご紹介いたします。

●作品とともに岡本太郎の言葉もご紹介します！

岡本太郎は数多くのエッセイを残しており、そのなかにはスポーツについてのものもあります。たとえば、スキーについては「命がけという条件と無条件の二つの前提がおおらかに同在している」とし、「それはちょうど私が絵を描いたり、彫刻の仕事をしている時の態度と意外に共通するものがある」と書き残しています。本展では、岡本の芸術観・人生観とも通ずる、彼のスポーツに関する言葉も作品と併せてご紹介いたします。

●本展は、写真撮影可能です。

(動画撮影、フラッシュ撮影、三脚・自撮り棒・ジンバル等の器材の使用は不可)



《栄光》1972 年



《五大陸》1967 年



《躍動の門》1993 年



近鉄バファローズ
制作年不明

主な出品作品(予定)

- ・油彩 《マラソン》《風》《記念撮影》
- ・彫刻 《五大陸》《躍動》《神話》《乙女》《躍動の門》
- ・レリーフ 《栄光》《あしあと広場》《水火清風》
- ・その他 テキスタイル《近鉄バファローズ》、岡本太郎デザインのスキー板 等

章構成(予定)

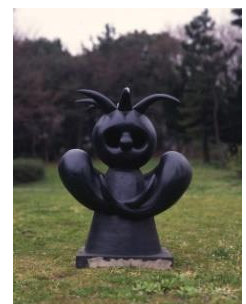
1. 岡本太郎、スポーツに挑む
2. 「人生、即“遊び”。」
3. みんなでスポーツ



《風》1972 年



《記念撮影》1975 年



《乙女》1988 年

関連イベント

○ワンポイントトーク

担当学芸員が常設展の展示解説を行います。

※イベントの詳細につきましては、当館ホームページでお知らせします。

川崎市岡本太郎美術館ホームページ <https://www.taromuseum.jp/>